

## 系 統

内装用汚染除去性特殊シリコン変性エマルジョン塗料

EP-Si

EP-CS

## 仕上がり

つや消し(白及び淡彩色～一部中彩色)

## 規 格

- 1) JIS K 5663  
合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー  
合成樹脂エマルジョンペイント 1種
- 2) 国土交通大臣認定防火材料

認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装 / 不燃材料
QM-9816	塗料塗装 / 準不燃材料
RM-9364	塗料塗装 / 難燃材料

## 荷 姿

16kg・4kg

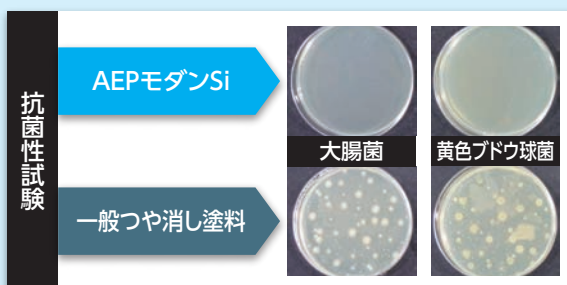
## 特 長

- 1) 特殊アクリルシリコンエマルジョンと微小球状顔料により、塗膜に汚れ成分が浸透しにくくなるとともに、付着した汚れも従来のエマルジョンペイントと比べて容易に除去することができます。
- 2) 特殊抗菌剤により、優れた抗菌性を長期にわたり発揮します。光が届きにくい環境でも抗菌性が発現します。
- 3) かびの発生を防ぎ、長期間美観を維持します。
- 4) ビニルクロスに含まれる可塑剤による影響を受けないため、ビニルクロスに直接塗装できます。
- 5) VOC(揮発性有機化合物)成分及び臭気が少なく、室内空気汚染問題対策に有効な環境に優しい塗料です。
- 6) 作業性、タッチアップ性に優れた高隠ぺいタイプのつや消し塗料です。

## 性 能



【試験方法】各種汚れを付着させ、5分経過後に20%水希釈した中性洗剤を含ませた布でふき取り、さらに水ぶきする。  
【注 意 点】※汚れは付着後、できるだけ速やかに除去してください。※乾燥条件や用途により実際とは若干の差が出る場合があります。※AEPモダンSiの乾燥が不十分な状態では、性能を十分に発揮しない可能性があります。



【試験方法】JIS Z 2801「抗菌加工製品—抗菌性試験方法—抗菌効果」に準拠  
【培養時間】24時間



【試験方法】JIS Z 2911「かび抵抗性試験方法」に準拠  
【試 験 菌】下記5種類の混合菌。  
Aspergillus niger, Aureobasidium pullulans,  
Cladosporium cladosporioides, Gliocladium virens,  
Penicillium funiculosum。  
【試験時間】4週間

試験項目	試験結果	品質規格(JIS K 5663 1種に準ずる)
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
低温安定性(-5℃)	合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	5℃	4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率%(白及び淡彩)	99	93以上
耐水性	合格	水に96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	水酸化カルシウム飽和溶液に48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	異常がない。
屋外暴露耐候性	合格	12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

## 適用部位

内壁・準外部・廊下壁・階段壁・天井など

## 適用素地

コンクリート・モルタル・せっこうボード・ビニルクロス・PCパネル・スレート・木部など

※シリコン加工された防汚クロスには塗装できません。

## 塗装仕様

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●汚れ・じんあいなどの付着物、粉化物などを除去し、乾燥した面にする。(含水率10%以下、pH10以下) ●ひび割れ、凹部は、パテまたはラフтонカチオンSCフィラーで平滑に調整する。					
2	下塗り	カチオンホワイトシーラー-EPO 清水	100 0~5	0.07~0.17	1	2時間以上	はけ塗り・ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	AEPモダンSi 清水	100 5~10	0.10~0.12	2	(工程内)2時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り・ローラー塗り エアレス塗り

使用可能下塗り カチオンシーラー-EPO、カチオンホワイトシーラー-EPO、AEPグリーンシーラー-透明、AEPグリーンシーラー-ホワイト\*、サンプラ、サンプラホワイト\*  
※防火材料認定 使用可能下塗

■準外部及び塗装条件の悪い内部でのエマルジョン/パテの使用は避けてください。 ■防火認定仕様については、別途お問い合わせください。  
■仕様の各数値はすべて標準のものです。素地の状態、塗装方法などで多少異なります。素地が粗面の場合、模様による凹凸が大きい場合などは、塗付量が多くなります。